

第3回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 議事録

日時 平成20年5月29日(金)

午後2時から

場所 市役所第二庁舎10階 会議室18

【出席者】

	氏名
委員 (7名)	市川浩一郎委員、越原照夫委員、石川利江委員、渡辺晃司委員、野崎光生委員、高木直樹委員、樋口敦子委員 (欠席：金澤玲子委員)
事務局	長野市都市整備部まちづくり推進課

1. 開会

2. 都市整備部長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 議事

(1) 目標 フォローアップについて

<資料1>

(説明：事務局)

委員	意見、疑問等あるか？
委員	6頁 26.市街地循環バス運行事業の事業番号は46ではないか？
事務局	訂正する。
委員	7頁に雨天の場合の自動車通行量が6%増加するとあるが、この数値の根拠はあるか？
事務局	実際の7月の歩行者・自転車通行量の調査日当日ではないが、交通管制センターが信号機で通行量を調査しているデータが一週間分あり、その中で晴れている日と雨が降っている日を比べた。同じ傾向にあるのではないかと思われる。
委員	他にあるか。
委員	2頁に「善光寺を訪れた観光客数は平成18年度を大きく上回っている」とあるが、具体的な数字を書かなくていいのか。書かないほうがいいのか。他は結構細かい数字を書いているが、ここだけ書いてない。はっきり書いたほうが、私たちはすっきりする。同じく6頁にも「約1ヵ月の社会実験を行い、より具体的な課題等を検証した」とあるが、プラス面の課題はこういった課題があったというような事を……。 すごく細かく書いてあるところと、ざっくり書いてあるところがあるのが、気になる。
委員	国のほうからは、細かく書いたほうが良いとか指導があるのか。
事務局	そこまで詳しい指導はなかったが、主要事業を1つ取り上げて、それについて検証し、進捗状況について報告してくださいというレベルだった。
事務局	多分、国の方も、全国いくつかの都市をまとめる時に、そこまで細かい指導は出来ない状態ではないか。文章を入れてどうかというよりも、来年再来年の事がどうなるか。国もいろいろな都市があるから、あまり長いものは好まないと思う。そこに入れたから、二重丸になる三重丸

	になるというような事は多分ないと思う。
委員	一年目であまり高いレベルにしても・・・。
委員	それならば、このままで良いかも。
事務局	市の事務局と本委員会の間では、もう少しシビアに思っている。
委員	善光寺の数字と言うのは内陣の数字か？
事務局	内陣のところの人数をカウントしているらしい。毎日ではないらしいがデータは平成7年頃からある。
委員	ある意味、常に善光寺はとれているということか。
事務局	県の観光部で、各観光地の来場者数の報告を受けて、発表している。その数字を受けてと言う事になる。
事務局	<p>どこの数字を使っても絶対ということではなく、200haを代表したところは、どこになるかという難しい話だ。</p> <p>目標 についても、調査地点が現在15地点だが、それで良いのかということも、やっていかななくてはならない。データを取って、20年度が始まれば国のほうもいろいろ言うてくると思うから、そうしたらやらなくてはいけない。また、大きなプロジェクトを起こすと、数字はすぐ変わってしまうため、観測地点がそこだけでいいかという問題も出る。今回はまず6月に提出しなければならないというルールがあるので、それを乗り切りたい。その時に、国に提出して終わりではなく、来年に向けてどんな課題があるかを評価しておけば、行政だけでなく、いろいろなところに発信していける。</p> <p>鉄道のデータなども必要。長野市は様々なデータを持っているが、総合的にやっていくのが当然だ。だが、調査項目が多ければ良いというものでもない。より良いデータ、正確なデータを集約、分析していかなくてはならない。</p>
委員	いろいろな事を踏まえてこれで良いか？
委員	この部分については良いと思う。言い訳はいくらでもできると思うので、きちんと(表に出るものとは別に)しっかりとした分析を課内では行って欲しい。
事務局	<p>たとえば、商業の小売の売上などのデータも必要。鉄道の乗客のデータも必要だし、循環バスの乗客のデータも必要。だが、細かいデータを国に出しても仕方がない。使い分けが必要。</p> <p>商業のデータベース化は、何を以て基準とするか、解析しにくい。人の動きというのは、商業とか交通などのトータルの事なので、解析するとなると、ゾーンなどの事もやっていけない。いいアイデア、データがあったら教えていただきたい。目標 の中にある住宅の戸数も調査していきたい。</p> <p>基本計画は5年だが、都市の活性化はずっと続くので、データは早めに集めたい。</p>
委員	データだけは、きちんと取れるようにしておいて・・・。 フォローアップはこれでよろしいか？
全員	了承

(2) 目標 の数値目標とフォローアップについて

<資料2>

(説明：事務局)

委員	意見、疑問等あるか？
委員	2頁の(ロ)トイゴ生涯学習センターの活用による効果を見ると「定期的(年2回) 4,400人×2回」とあるが、これよりは、「年2期で講座数いくつ」などの表現のほうが、一生懸命やっているように思える。 5頁の今後の対応の欄の「現行の取組で十分」という表現も「現行の取組で数値目標は達成できるが、より市民ニーズに応える。より充実を図る。」などの表現にした方が良いのではないか。
事務局	これは、国から見た、国が判断する言葉。 Case1については何々、Case2については何々、と決まっている。Case4と書く場合は非常事態であり、長野市はCase2、Case3とした。
事務局	生涯学習センターの件だが、委員の指摘どおり、表現がおかしく感じられるが、基本計画の中でそういった表現を使っている。そこだけ変えると整合が取れなくなってしまうので、今回はこの表現にさせていただきたい。
事務局	2回というのは、基本計画81頁に説明がある。10月にオープンして、まだいろいろな講座が組める状態ではなかった時、2月、3月に1回ずつ大きな講座を開き、その時の1回の参加者数が4,000人位ということを根拠として積算したものであるが、前半の部分がなくなっていきなり2回と出てくるので、このような形になってしまっている。
委員	了承
委員	5頁の理由のところ、増加分の見込みの数字は、ここまで細かく出すべきものなのか。計算からすると、確かにそうなのかもしれないが、見込みなので概数でよいのではないか。
事務局	訂正します。
委員	他にあるか？
委員	意見というより感想だが、もんぜんぷら座に関してNTTのコールセンターが入ったということは、評価される事なので盛り込めれば良い。それが入れば、もっと評価されるのではないか。もったいないと思う。
事務局	今回の指標として、利用者をカウントしている。NTTコールセンターは、利用者というカウントの中からは外れてしまう。5～8階まで、フルに入ったのでありがたい事だが、ここには反映できなくなってしまっている。
委員	反映できないのは良いと思うが、中心市街地の活性化ということでは共通の目標なので、検討してもらえれば良い。
事務局	国も承知している。ただ、そこまで言うと複雑になってしまうので落とす。 もんぜんぷら座をやった後、TOiGO、楽茶館の三つは、必死になってやっていかなくてはならない。

委員	これでよろしいか？
全員	了承

(3) 平成 19 年度フォローアップ報告全体総括について < 資料 3 >

(説明：事務局)

委員	意見、疑問等あるか？
委員	「国の支援がないその他の事業に位置づけられた 8 事業」と言うのは具体的にどれか？
事務局	第 2 回委員会の際の資料 4 にある。
事務局	こういうことは今後も起こる。市もできるだけ市費以外のお金を使いたいということで、国の承認が得られると、こういった形で多少補助をもらう。
委員	これは、国に報告した後、一般にプレス発表などもするのか？
事務局	国では、どのような形で公表するか、はっきり決まっていないという事だった。基本計画自体が HP でアップされているので、同じような方法になると思われる、という言い方だった。一応、全面的に公表する事となっている。
事務局	国も、今年認定する都市がいくつもある。国のほうも評価の仕方が確立されていない。
委員	認定を同時期に受けたところは、一斉にこれを出しているのか。
事務局	そうだ。 初年度の評価は、最初に認定を受けた都市と、2,3 年経って受けた都市とでは変わってくる。全部出揃ったときに、また変わってくるかもしれない。
委員	総合調整会議幹事会というのはどういったものか
事務局	所管する課長の合同会議。30 課ある。その上に部長会議がある。 こういう仕事というのは、広範囲にわたるので一同に会してやらないと、バラバラにやるとおかしくなってしまう。
委員	幹事会の長は誰か？
事務局	私だ。
委員	この議案はこれで良いか？
全員	了承

(4) その他

5 . 事務連絡

6 . 閉 会